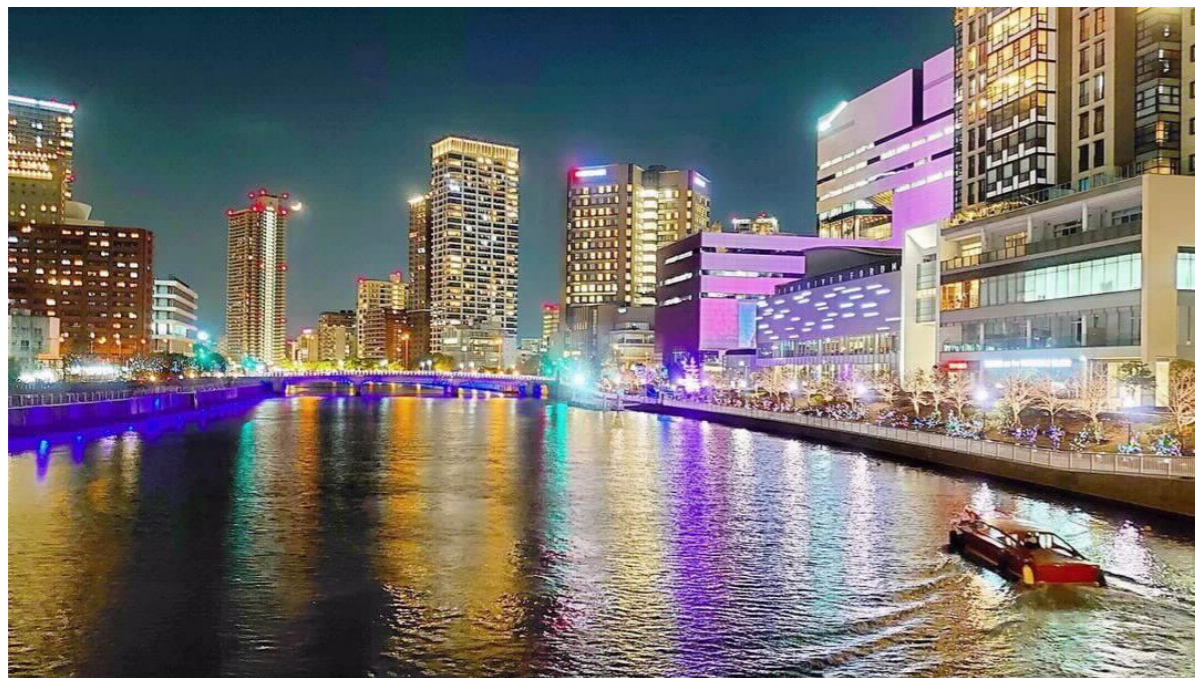




水都大阪の取組みについて

～ 「持続的な成長」をめざして ～



2021年度水都大阪フォトコンテスト最優秀賞



2021年度水都大阪フォトコンテスト大阪観光局賞

2022年 3月

水都大阪コンソーシアム (SOC)

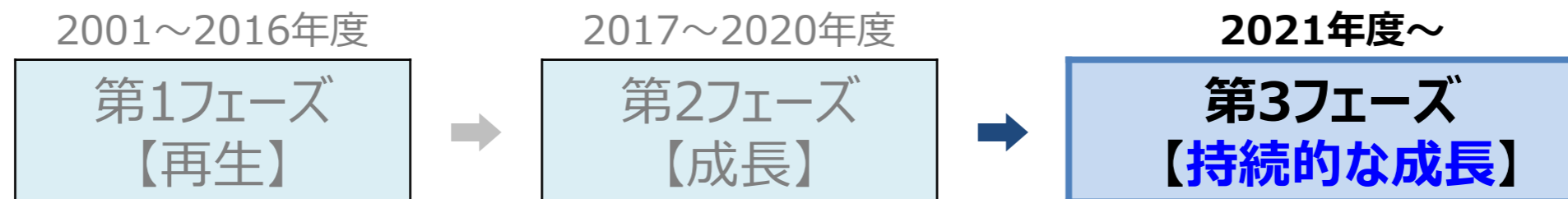
水都大阪ビジョン（前回水と光のまちづくり推進会議にて報告済）

■ 水都大阪のめざすもの（水都大阪ビジョン）

世界に類をみない第一級の水都の創造とともに、住まう人・携わる人・訪れる人を笑顔に

- 歴史と文化に培われた水都大阪を次世代につなぐ
- 世界の多くの人々が水都といえば大阪を思い起こす魅力あるにぎわい空間の創出
- 安全・安心で環境と共生する持続可能な水都大阪の確立

■ これまでの歩み



■ 水都大阪がめざすべき成長目標（概ね2025年度までを目途）

～ 新型コロナの影響による水辺のにぎわいの落ち込みを踏まえて ～

規制緩和の積極的活用とともに、エリア毎の特色を活かした魅力づくりによって、

水の回廊全体のさらなる活性化を推進する

交通の利便性向上や、安全・安心で環境と共生する「持続可能な水都大阪」の実現などによって、

水辺におけるライフスタイルの定着をめざす

水の回廊と今後の開発や整備が期待されるベイエリアや淀川をつなぐことで、

水都大阪の広がりを図る

『水都大阪ビジョン＜アクションプラン＞』より

2021年度の取組み（1）－取組み方針と主な事業－

■取組み方針

～ 新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、実施可能な事業を見極め ～

- ① **にぎわい・舟運の復活**を優先するとともに、**恒久的なにぎわい創出・基盤整備**や**新たな魅力づくり**に取り組む
- ② **目玉となるエリアづくり**や、万博インパクトの活用も含めた**スマート水都***の**可能性追求**を意識

* デジタル化や新技術の導入によって、水辺に新たなにぎわいが生み出されている将来像（の検討）

■主な事業

●密を回避し、船が行き交う風景を四季を通じて創出…①

- ・「水の回廊 春爛漫クルーズ」（2021年3月）
- ・「涼み舟」（夏のクルーズ支援）（8月）
- ・秋の「水都大阪ウィーク」（10月）

熱気球体験

【2,500組超応募、約640人搭乗】

リバー・ザ・ワンダーパレード

【パンフレット約8,000枚配布】

- ・冬「水都大阪ウィーク」（12月）

天神橋らせんスロープライトアップ

クリスマス音楽パフォーマンス船

クリスマスクルーズ装飾支援



水の回廊 春爛漫クルーズ



熱気球体験



リバー・ザ・ワンダーパレード



天神橋らせんスロープライトアップ

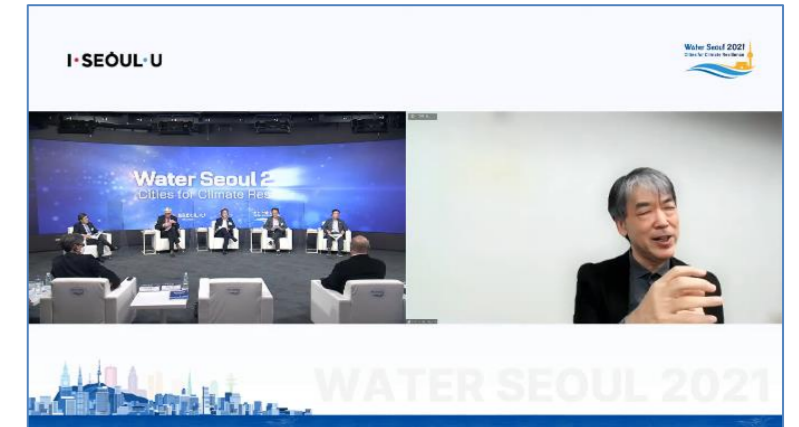
2021年度の取組み(2) - 主な事業 -

●各種企画クルーズの支援…①

- ・大川さくらクルーズ「小学生無料乗船企画」の支援
(2021年3～4月)【約8,800人乗船】



大川さくらクルーズ



ウォーターソウル2021

●外部連携による水都大阪の深化、PR…①

- ・「ウォーターソウル2021」へのリモート参加 (10月)
- ・「水都大阪アカデミア」の開催 (12月)
(大学生による水都大阪の研究発表会)
- ・「外国人留学生エキスポ2021」への出展 (12月)



水都大阪アカデミア

●水都大阪のシンボル空間創出・活用のための調査研究…①

- ・東横堀川：水上キャンプ社会実験、フィールドワーク (7月～)
- ・中之島東部：中之島広場と水辺の利活用アンケート (7月～)

●次の目玉エリアの検討…②

- ・旧大坂城エリア (大阪城港～β本町橋を含むエリア) など

●「スマート水都」に関する事例研究…②



東横堀川の水上キャンプ社会実験

2022年度の取組み – 当面の課題と来年度事業の方向性 –

■ 当面の課題

- ～ 先行きの見通しが難しいコロナ禍において、にぎわい・舟運の復活は道半ば ～
- より多くの方々に、より深く「**水都大阪**」を浸透・定着させること
 - **歴史・文化**の側面から水都大阪の魅力を掘り出し、**シビックプライドの醸成**につなげること
 - **社会情勢の変化**（コロナ禍の新しい生活様式、万博インパクト、SDGs）を踏まえた**新たな取組みの検討**

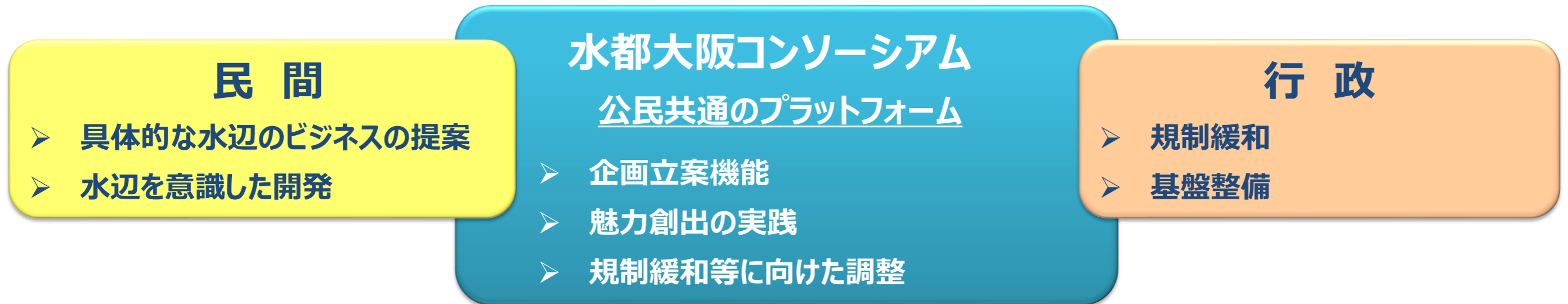
■ 来年度事業の方向性

- ～ コロナ禍に対応しつつ、万博に向けて、にぎわい・舟運の**次なる成長**をねらう ～
- 水辺におけるライフスタイルの提案や体験による、水都大阪のファンづくり
（四季を通じた「**水都大阪ウィーク**」の開催など）
 - **歴史・文化**に培われた水都大阪のブランディングをさらに強化
（観光や教育に資するコンテンツの磨き上げ）
 - 万博を見据え、さらにポスト2025をにらんだ水都の将来像の検討
（**スマート水都の実現**に向けた試行、ベイエリアや淀川との連携）

水都大阪コンソーシアム（2017年4月～）

～ プランニングからアクションまでを公民一体となって実践 ～

- ◇ これまでの成果を水都全体に応用・波及
- ◇ 総合力を発揮できるネットワーク・コーディネーター型の取組み
- ◇ 公民で目標・ビジョン等を共有し実践



+

水都大阪コンソーシアム全般の機能強化（2021年4月～）

プラットフォーム機能	●公民メンバーの長所を活かした役割分担
コーディネート機能	●エリア協議会やまちづくり団体との連携、民間連携・行政間連携の促進
外部連携機能	●企画会議・企画会議分科会の活性化、コミュニケーションの促進



SOCを中心に多様な水辺関係者と連携し、水都大阪ビジョン達成をめざしていく